

- 備考1 算出にあたっては、小数点以下第2位を切り捨てること（下記2をのぞく）。
- 2 「前年度の利用者の平均値」：当該年度の前年度（4月1日から翌3月31日まで）の延べ利用者数を、日数で除した数（小数点第2位以下を切り上げ）
- 小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、複合型サービス、共用型認知症対応型通所介護のみ記入すること。
 - 各月毎の利用者数がかかる資料を添付すること。
 - 前年度、新設、再開、または増床があった場合、新設等から1年以上の場合は直近の1年間で計算すること。
 - 前年度、新設、再開、または増床があった場合、新設等から6か月以上1年未満の場合は直近の6か月で計算すること。
 - 前年度、新設、再開、または増床があった場合、新設等から6か月未満の場合はベッド数（定員）の90%を記入すること。
- 3 「夜間及び深夜の時間帯」
- 小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、共用型認知症対応型通所介護、複合型サービスのみ記入すること。
- 利用者の生活サイクルに応じて、1日の活動の終了時刻から翌日の開始時刻をまでを基本として設定すること。
- 4 「勤務形態」 下記のいずれかを選択すること。
- 勤務形態の区分：常勤専従、常勤兼務、非常勤専従、非常勤兼務**
- 5 記載順は、届出する従業者の職種ごとに、上記の勤務形態の区分の順にまとめて記載すること。
- 6 「週平均の勤務時間」 職種ごとに、常勤専従の小計と、常勤専従以外の者の小計を記入すること。
- 7 「*」欄 当該月の曜日を記入すること。
- 8 「勤務時間等一覧」 昼の勤務時間については、勤務時間のうち、夜間及び深夜の時間帯以外の勤務時間を記入すること。
- 9 当該事業所に係る組織体制図を添付すること。
- 10 「職種」 定期巡回・随時対応型訪問介護看護については、定期巡回サービスを行う訪問介護員、随時訪問サービスを行う訪問介護員を分けて記載すること。

勤務体制及び勤務形態一覧表

[△△年 □□月]

サービスの種類 [認知症対応型共同生活介護]

事業所の名称(ユニット名称・单位名称)

[グループホームxxxx ○○ユニット]

記入例

前年度の利用者数の平均値	8.5	人	夜間及び深夜の時間帯	21時00分から 6時00分	常勤の者の勤務時間数	40	時間
--------------	-----	---	------------	----------------	------------	----	----

職 種	勤務形態	氏 名	第1週							第2週							第3週							第4週							第5週					合計	昼の勤務時間数	週平均の勤務時間	常勤換算後の人数			
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31									
			月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水									
介護職員	常勤専従	上越 太郎	早	遅		早	遅	早	早	遅		早	遅	早	早	遅		早	遅	早	早	遅		早	遅	早	早	遅		早	遅	早	早	遅		早	遅	早	160	160	40	1
		小計																																					160	160	40	1
介護職員	非常勤専従	上越 次郎		夜	明		B	B	A	B	B		夜	明		B	B	夜	明		B	B	B		夜	明									120	100	30	0.8				
介護職員	非常勤兼務	上越 花子	早	遅	A	B				早	遅	A	B				早	遅	A	B				早	遅	A	B								112	112	28	0.7				
		小計																																			232	212	58	1.5		

勤務時間等一覧	記号	勤務時間 (時間数)	休憩時間 (時間数)	昼の勤務時間 (時間数)	記号	勤務時間 (時間数)	休憩時間 (時間数)	昼の勤務時間 (時間数)	記号	勤務時間 (時間数)	休憩時間 (時間数)	昼の勤務時間 (時間数)
	早	7:00~16:00 (8:00)	11:00~12:00 (1:00)	7:00~16:00 (8:00)	A	8:00~13:00 (5:00)	0 (0:00)	8:00~13:00 (5:00)	B	9:00~17:00 (7:00)	12:00~13:00 (1:00)	9:00~17:00 (7:00)
	遅	10:00~19:00 (8:00)	13:00~14:00 (1:00)	10:00~19:00 (8:00)	夜	18:00~24:00 (6:00)	0 (0:00)	18:00~21:00 (3:00)	明	0:00~8:00 (8:00)	0:00~7:00 (0:00)	6:00~8:00 (2:00)

- 備考1 算出にあたっては、小数点以下第2位を切り捨てること（下記2をのぞく）。
- 2 「前年度の利用者の平均値」：当該年度の前年度（4月1日から翌3月31日まで）の延べ利用者数を、日数で除した数（小数点第2位以下を切り上げ）
- 小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、複合型サービス、共用型認知症対応型通所介護のみ記入すること。
 - 各月毎の利用者数がわかる資料を添付すること。
 - 前年度、新設、再開、または増床があった場合、新設等から1年以上の場合は直近の1年間で計算すること。
 - 前年度、新設、再開、または増床があった場合、新設等から6か月以上1年未満の場合は直近の6か月で計算すること。
 - 前年度、新設、再開、または増床があった場合、新設等から6か月未満の場合はベッド数（定員）の90%を記入すること。
- 3 「夜間及び深夜の時間帯」
- 小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、共用型認知症対応型通所介護、複合型サービスのみ記入すること。
- 利用者の生活サイクルに応じて、1日の活動の終了時刻から翌日の開始時刻をまでを基本として設定すること。
- 4 「勤務形態」 下記のいずれかを選択すること。
- 勤務形態の区分：常勤専従、常勤兼務、非常勤専従、非常勤兼務**
- 5 記載順は、届出する従業者の職種ごとに、上記の勤務形態の区分の順にまとめて記載すること。
- 6 「週平均の勤務時間」 職種ごとに、常勤専従の小計と、常勤専従以外の者の小計を記入すること。
- 7 「*」欄 当該月の曜日を記入すること。
- 8 「勤務時間等一覧」 昼の勤務時間については、勤務時間のうち、夜間及び深夜の時間帯以外の勤務時間を記入すること。
- 9 当該事業所に係る組織体制図を添付すること。
- 10 「職種」 定期巡回・随時対応型訪問介護看護については、定期巡回サービスを行う訪問介護員、随時訪問サービスを行う訪問介護員を分けて記載すること。